大川市デジタル人材育成事業【大川市】

 固別事業費
 5,830 _{千円}

 交付金額
 3,375 _{千円}

地域の実情と課題

本市は製造業への就労の割合が高く、小規模事業者も多く見受けられる。市民意識調査でも「男性優位」の考えが 根強く、家庭生活より仕事の優先度が高い傾向にあり、仕 事と家庭生活が両立しにくい労働環境も多い。地元企業 に男女共同参画の重要性を理解していただくことが課題と

目的·目標

女性の働きやすい環境づくりにデジタルは大きく貢献すると考え、企業の業績向上と併せて女性活躍やデジタルを受け入れる環境づくり、企業に受け入れてもらえるような女性デジタル人材を育成する取り組みを実施する。(目標:セミナー受講企業数10社、実績:31社)

事業の特徴

なっている。

経営者向けセミナーにて、まずは企業にとってのメリットを示しながらデジタルや女性活躍の重要性を訴え、併せて実務担当者向け体験会を行うことで経営者と実務者の両方から理解促進を図る。 さらに研修にて、地元企業の女性社員と市内在住女性に、デジタルマーケティングの実力を身に付けていただき、本

市の女性のデジタル人材育成による女性活躍を狙う。

連携団体

- •商工会議所
- ·市男女共同参画審議会

事業の効果

- ①②参加した経営者や社員には、「デジタル」や「女性活躍」の重要性の理解が得られ、女性が活躍しやすい職場環境づくりの前進に繋がった。
- ③全員が新しい知識やスキルを習得し、委託企業のアシスタントレベル程度の実力を身に付けたと伺っていることから、本市の女性のデジタル人材育成に確実に繋がっている。

今後の課題

「デジタル」「女性活躍」=「企業のメリット」を感じることができないと経営者は関心を持てない。まずは関心を持ってもらうことが課題である。

事業の概要

(1)デジタルマーケティング入門編セミナー(経営者向け)

企業の方針を決定できる経営者等を対象に、商工会議所と市との共催でセミナーを開催した。地元企業の業績向上に繋がるよう経営者に向けて女性活躍やデジタルマーケティングの必要性を訴え理解を求めながら女性活躍やDX化の重要性の機運を高めるとともに、ECサイトの多チャンネル対策・SNS施策・リピーター施策などのマーケティング基礎を学ぶ場とした。

②DX体験会(実務担当者向け)

地元企業で普段から業務を行っている実務者を対象に、商工会議所と市との共催で体験会を開催した。実際にPCを触りながら、デジタルマーケティングを行う上でのスキルを学び、DX化による業務効率化のメリットを感じられる場とした。



- ③デジタルマーケティング研修(女性向け)全11回
- ①デジタルマーケティング入門編セミナー又は②DX体験会に参加した地元企業に属する女性社員又は市内在住の女性を対象に、デジタルマーケティング分野で活躍できるスキルの習得を目的に、インターネットを通じたオンラインにて一定期間の研修を実施した。



